

災害用備蓄食品の提供申込にあたっては、以下の点に確認いただきご了解ください。

- 1 別紙に示す合意事項について了承する。
- 2 申込は、1箱単位とする。
- 3 申込団体等の概要、活動状況等が分かる資料を提出する。
- 4 確実に食品として利用できる量を申し込む。万が一、食品として利用できない場合の処分は適切に行う。
- 5 提供数を上回る希望があった場合には、先着順とする。
- 6 上記に定めのない事項で疑義が生じた場合は、双方で協議のうえ決定する。

【合意事項】

1 転売等の禁止

提供食品は転売及び金銭その他有価物との交換は禁止する。

2 災害用備蓄食品の提供

- (1) 災害用備蓄食品を提供する前に、国土交通省中部地方整備局において本来の備蓄食品としての目的などに使用し、提供できる数量に変更が生じた場合には、提供量の調整をおこなう。
- (2) 災害用備蓄食品の提供を受けるフードバンク等は「提供可能となる食品に関する情報」問い合わせ先欄に記載されている官署の担当者(以下「担当者」という。)と協議のうえ、提供食品の引渡日時を決定し、当該日時に、引渡場所での受取、または着払いでの受取りを確実に行う。なお、着払いでの受取りの場合、国土交通省中部地方整備局の指定する配送業者によるものとする。

3 提供災害用備蓄食品の品質管理

災害用備蓄食品の提供を受けたフードバンク等は、提供食品の品質が保持されるよう以下の(1)から(4)までの事項を遵守するなど適切に取り扱うとともに、譲渡先に対しても適切に取り扱うよう指導する。

- (1) 食品の保管、荷捌きに必要な施設及び機械を設置・保有すること。
- (2) 食品は床に直置きしないこととし、衛生に悪影響を及ぼす薬品、廃棄物等とは分けて保管すること。
- (3) 保管中に汚損又は破損等により食品衛生上の問題が生じた食品は、受取先に対して譲渡しないこと。
- (4) 食品を保管する施設の衛生管理を適切に行うこと(定期的な清掃、採光、照明、換気等)。

4 提供食品の取扱いに関する情報の記録及び保存、結果の報告

食品の提供を受けたフードバンク等は、提供食品の取扱いに関する情報(譲渡先の名称、譲渡年月日、譲渡数量)を記録し、これを1年間保存する。また、譲渡後速やかに当該情報を担当者に報告する。

5 責任の所在

- (1) 国土交通省中部地方整備局は、提供食品が提供を受けるフードバンク等へ引き渡されるまでの間、当該食品に定められた保管方法に従い適切に管理されていたことを保証する。引き渡し後については、提供を受けたフードバンク等の責任において提供食品の品質管理を行う。
- (2) 提供食品の譲渡後の事故の責任は、一切、国土交通省中部地方整備局に問わない。

6 賞味期限を過ぎた提供食品の取扱い

賞味期限を過ぎた提供食品を引き取る場合は、以下の(1)から(3)までの事項を遵守する。

- (1) 食品の提供を受けたフードバンク等は、当該提供食品が賞味期限を過ぎたものであることを認識した上で、自らの責任において国土交通省中部地方整備局から当該提供食品を引き取ること。
- (2) 食品の提供を受けたフードバンク等は、当該提供食品の譲渡先を、当該提供食品を最終的に消費する者に限ること。これに限らない場合は、事前に担当者へ相談すること。
- (3) 食品の提供を受けたフードバンク等は、譲渡先に対して、譲渡先において当該食品を消費する際に、その形状、色、臭い及び味等について譲渡先自らが確認のうえ、食品として消費するか否かを当該譲渡先の責任において判断することを申し伝えること。

7 提供食品の譲渡先

食品の提供を受けたフードバンク等は、社会福祉法人、特定非営利活動法人、行政その他生活支援を必要とする個人の支援を目的とする団体を通じて、又は直接個人に対して提供食品を譲渡する。

なお、食品の提供を受けたフードバンク等は、譲渡する前にやむを得ず提供食品を廃棄する場合は適切に行う。

8 誠実協議

本合意事項に記載なき事項又は本合意事項の解釈に疑義の生じた事項については、食品の提供を受けたフードバンク等と国土交通省中部地方整備局とで信義誠実のもとに協議のうえ、解決する。

9 反社会勢力の排除等

食品の提供を受けたフードバンク等は、自己が現在または将来にわたって反社会勢力に該当しないこと。また、不当な要求や脅迫、暴力的行為、国土交通省や国土交通省中部地方整備局の信用を毀損する行為を行わないことを約する。